

2022年1月13日  
株式会社日本政策金融公庫

## 宮城県農業高等学校がグランプリを受賞 ～第9回「高校生ビジネスプラン・グランプリ」開催結果～

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）は、第9回「創造力、無限大∞ 高校生ビジネスプラン・グランプリ」の最終審査会を1月9日（日）、東京大学において開催しました。当日は、応募総数3,087件（353校）の中から選ばれたファイナリスト10組がプレゼンテーションを行い、宮城県農業高等学校がグランプリを獲得しました。

今回の最終審査会は、コロナ禍であることを踏まえ、無観客で行いその模様をWeb上でライブ配信しました。また当日は、プレゼンテーションに先立ち、岸田内閣総理大臣から高校生に向けたビデオメッセージをいただきました。

グランプリを受賞した宮城県農業高等学校のプランの「#ZERO マイプラ」は、水田用肥料として使われているプラスチックカプセルの残骸による環境汚染を防止するため、ゆっくりと溶ける肥料を開発し、廃棄物ゼロを目指すプランです。事業化プロセスの完成度の高さや、環境問題を解決する商品を考案したことが高く評価され受賞に至りました。

グランプリを受賞した宮城県農業高等学校の生徒からは、「受賞は本当に嬉しいです。海岸で清掃をしている時に肥料から出たごみを見つけ、このビジネスプランを思いついた。海の美しさを守る第一歩になればうれしい。」というコメントが寄せられました。

日本公庫は、起業を増やし、活力あふれる日本を創っていくために、これからも次世代を担う若者の創業マインド向上に取り組んでいきます。



【会場の様子】



【グランプリ受賞 宮城県農業高等学校】



【プレゼンテーションの様子】

(※) 最終審査会の様子や岸田内閣総理大臣からのビデオメッセージは、以下のURLよりご覧いただけます。

最終審査会の様子：[https://www.youtube.com/channel/UCji7jYFrG3H\\_pvs3vBQGgaQ](https://www.youtube.com/channel/UCji7jYFrG3H_pvs3vBQGgaQ)（視聴可能期間：2022年3月31日まで）

岸田内閣総理大臣のメッセージ：[https://www.jfc.go.jp/n/info/info\\_bn/news220111.html](https://www.jfc.go.jp/n/info/info_bn/news220111.html)

【第9回「創造力、無限大∞ 高校生ビジネスプラン・グランプリ」最終結果】

受賞	高校名 〈チーム・個人名〉	プランタイトル	プラン内容
グランプリ	宮城県農業高等学校 〈農業経営者クラブ〉	#ZERO マイプラ	水田用肥料として使われている、プラスチックカプセル肥料の残骸による環境汚染を防止するため、ウレアホルムによる緩効性肥料を開発し廃棄物ゼロを目指したプラン。
準グランプリ	香川県立高松高等学校 〈石川 加那〉	Make happy week ～自分を好きになる 一週間～	生理用品の購入や、生理についての情報取得や医師などに相談可能なアプリの開発。人に聞けない悩みを解消し、アプリ代金は生理用品購入困難な人への商品の寄付とするプラン。
審査員 特別賞	札幌日本大学高等学校 〈木造住宅守る隊〉	音波で空き家の健康を診断 ～この機械があれば誰でも 簡単に～	木造住宅の柱などの木材用の音波診断装置(PHC)を開発し、空き家の状態を的確かつ効率的に把握して空き家の選別と再利用や再販売を促進するプラン。
	灘高等学校 〈ふおーたか〉	CASE Pick	食材購入に時間が割けないワーキングマザーと、時間に余裕のある高齢者を結び、買い物の代行を委託することで、子育て世代の負担軽減と高齢者の健康維持を狙ったアプリを開発するプラン。
	岡山県立笠岡商業高等学校 〈笠岡商業高校 笠 SHOP 探究班〉	生きた化石と人類の共栄 ～人類を救う！カブトガニ 牧場～	地元で生息するカブトガニの血液がCOVID-19のワクチン開発原料に使用されていることに着目し、養殖による大量生産で国内製薬会社にその血液を供給するプラン。
優秀賞	東京学芸大学附属国際中等 教育学校 〈高橋 美月〉	Re-LINK	母国語で会話する機会が少ない日本に居住する外国人に、わが国の帰国子女とのオンライン上での交流機会を設けてお互いの言葉の壁を解消し、言語能力の維持を目指したプラン。
	市川高等学校 〈森ポタ〉	森ポタ ～つなげ！ 森林への 架け橋～	わが国の森林維持のため「森林体験付きオーナー制度」を設け、多くのオーナーを募ることで、その収益から森林の植林、伐採、育林のサイクルの維持を図るプラン。
	洗足学園高等学校 〈べじがーるず〉	脱！'規格外'野菜 ～日焼け止めで十年後の 肌と環境を守ろう～	野菜に含まれる UV ケア効果のあるアントシアニンに着目し、規格外野菜から日焼け止めクリームを作成するキットを開発し、子供用に販売して学習と日焼け止め効果の両方を目指したプラン。
	京都府立桂高等学校 〈植物の高品質化に関する研 究室〉	「梅えトマト」の栽培と ブランド化プロジェクト	梅干しの生産過程で大量に排出され廃棄が困難な梅酢に着目。これを活用したトマトの栽培方法を開発し、高糖度のブランドトマトとして商品化するプラン。
	岡山県立高梁高等学校 〈大森 麻琴〉	狩猟免許保有の女子高 校生が提案する '狩猟技術スクール'	増加する鳥獣被害と狩猟免許取得者の減少という課題解決のため、狩猟講習会によりワナ免許取得者を増やし、駆除の奨励とジビエなどの観光資源化により地域活性化を目指すプラン。